

前橋工業高等学校 学校評価一覧表 ① (令和4年度版)

(様式1)

表の見方 具体的数値項目 A:充分達成できた B:達成できた C:もう少しで達成できた D:達成できなかった

評価対象	評価項目	針	具体的数値項目	方策	第1回点検・評価			第2回点検・評価				
					自己評価	外部アンケート 生徒	改善策	自己評価	外部アンケート 生徒	改善策		
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	(1) 各教育活動に満足している生徒が70%以上である。	(2) 生徒が在学中に1回以上インターンシップに参加している。	(3) 工業の特長を生かしたものづくりに積極的に取り組み、実習内容に満足している生徒が70%以上である。	(4) 自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は、80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫に満ちた教育活動を展開する。 ・各教科で体験的学習を取り入れる。 ・選択授業・少人数授業を実施する。 ・授業参観・授業研究会を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の満足、ほぼ満足が合計が92.5%である。 ・自分や周りの授業や第一志望の進路実現に向けて努力する。 ・教員相互の研究授業や授業研究会を通して教育技術の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期以降に実施予定である。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、関連機関と連携して行事の実施の可否を判断する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の満足、ほぼ満足が合計が89.7%である。 ・生徒と職員が魅力ある学校作りに向けて努力する。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大にともない、実施方法を工夫しながら行っている。 			
										(5) 生徒の資格指導に対する満足度は、90%を超えている。	(6) 生徒の実態を踏まえ、到達度に応じた学習指導を実施し、学習に対する達成感・満足感をもっている生徒が70%以上である。	(7) 欠点保持者数は各学期で全校で10%以下である。
(8) 職員会議や学年会議において、生徒に関する情報交換を月に1〜2回程度行っている。	(9) 家庭と連携をとりながら、生徒の怠慢による欠席・遅刻をなくし、1日平均遅刻者数は前年度の98%以下である。											
										(11) 学校は、1回以上生徒に説明している。	(12) 学校は、「学校いじめ防止基本方針」について、1回以上生徒に説明している。	(13) 学校は、生徒がSNS(ツイッターやラインなど)やインターネットの危険性や正しい利用方法などについて、1回以上は学ぶ機会をつくっている。
(14) 部活動に積極的に取り組んでいますか。	(15) 進路関係の行事やガイダンスを年5回以上実施する。	(16) 学校からの進路に関する情報について満足している保護者が80%以上である。	(17) 進路について真剣に考え、その実現のために努力している生徒が70%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換会を実施する。 ・各科と担任の情報交換を密にする。 ・定例学年会で情報交換する。 ・職員会議、成績会議で情報交換する。 ・各会議での情報を共有できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談係やスクールカウンセラー、臨床心理士と連携して、支援が必要な生徒に対応した。 ・学年会を月に4回実施し、情報交換した。 ・オンラインシステムにより随時職員間の情報共有を行っている。 							
						(18) 学校の教育活動を人々に理解してもらうために学校公開を年3回実施している。	(19) 保護者全員を対象とした学級担任による面談を年1回以上実施している。	(20) PTA総会(令和4年度は書面評決)、学年保護者会等に積極的に参加している保護者が50%以上である。	(21) 学校の活動内容や生徒の状況を年12回以上伝え広報活動も行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導も見据えた指導を行う。 ・遅刻カード(イエローカード)の記入を徹底する。 ・欠席遅刻が多くなりそうな生徒には、家庭へ連絡し早期改善に努める。 ・基本的生活習慣を確立させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻者数は前年度より少ない傾向にあるが、コロナ禍の影響で出席停止も多く正確な情報は言い切れない。生活習慣が確立している生徒も多いが、遅刻をしていく生徒は生活習慣が歪みや不登校傾向のある生徒がほとんどである。最近では自転車の故障や軽度な自爆などの事故も目立つ。 	
(22) ICTを活用した授業を週1回以上が行っている。	(23) オンラインによる通知の割合が70%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・検診結果により治療が必要な生徒に治療勧告を行う。 ・担任、養護教諭等で指導機会を増やす。 ・保健だよりを発行し、保健意識の啓発を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活アンケートや面談週間などで、悩みを学校職員に伝える機会を設け、未然防止や早期発見に結びつける。 ・生徒、保護者を中心となって、あいさつ運動を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度現在までのいじめ認知件数は10件である。早期発見対応ができていたのも原因である。またSC、教育相談と連携し対応できている。アンケート調査等も学期に回実施している。 								
					<ul style="list-style-type: none"> ・新入生歓迎会(部活動ガイダンス)により、新入生への部活動加入を促す。 ・部活動の諸調整を行い活動の活性化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は全校集会や学年集会で生徒・職員に説明をした。放送連絡、オンライン集会、HP、生徒指導だより等でも周知している。 						
9 計画的な指導を行っていますか。	(15) 進路関係の行事やガイダンスを年5回以上実施する。	(16) 学校からの進路に関する情報について満足している保護者が80%以上である。	(17) 進路について真剣に考え、その実現のために努力している生徒が70%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・先輩と語る会や3年生と語る会を実施する。 ・進路希望調査を実施する。(年2回) ・進路講話や進路ガイダンスを計画的に実施する。 ・進路補講(2年3学期)を実施する。 ・各科との協力のもと、企業見学やインターンシップを実施する。 			<ul style="list-style-type: none"> ・現在、方策におけた進路行事を実施できている。今後も計画通り進めていく。特に、10月中旬に2年生対象のインターンシップが予定されている。職業観や勤労観等が身につくため、無理のない範囲で計画通り進めていく。 					
					10 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	(17) 進路について真剣に考え、その実現のために努力している生徒が70%以上である。		<ul style="list-style-type: none"> ・進路のしおりを作成し配布する。 ・保護者対象の進路説明会を実施する。 ・ホームページを活用し、進路行事や進路状況を載せる。 ・2者及び3者面談を実施し、進路希望の確認を行う。 ・配布物を保護者に見せるよう、学級担任と協力して生徒を指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路のしおりを年当初に発行できた。今年度は、全校生徒、職員他、コロナ禍で行事の中止等もあったため、第2学年・第3学年の保護者全員に進路のしおりを配布した。また、必要に応じ、保護者対象にGSNメールを使い、進路に関する案内を送付している。 			
11 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	(18) 学校の教育活動を人々に理解してもらうために学校公開を年3回実施している。	(19) 保護者全員を対象とした学級担任による面談を年1回以上実施している。	(20) PTA総会(令和4年度は書面評決)、学年保護者会等に積極的に参加している保護者が50%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンスクールを行う。 ・学校公開を実施する。 			<ul style="list-style-type: none"> ・第1回学校説明会を開催し、中学生、保護者、中学教員合わせて876人が参加した。 					
					(21) 学校の活動内容や生徒の状況を年12回以上伝え広報活動も行っている。	(22) ICTを活用した授業を週1回以上が行っている。		(23) オンラインによる通知の割合が70%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・全校一斉の3者面談週間を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・6月に2週間おきに全校3者面談を行い、全生徒、保護者が4回担任と学校生活や進路について面談した。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・学級懇談会や学年保護者会を実施する。 ・保護者への連絡を周知徹底するため、案内文書に加えメールでの案内も送る。 ・家庭との連絡を密にする。(担任) ・課題研究発表会等では、保護者に案内を送る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA総会は、新型コロナウイルス感染拡大により書面評決とした。 ・クラス通信や学校のWebページ、一斉メールなどを活用し、適宜保護者に情報発信している。 ・新型コロナウイルス感染症については、Webページや一斉メールを活用して逐一情報発信している。 											
		12 ICTを活用した指導を行っていますか。	(22) ICTを活用した授業を週1回以上が行っている。	(23) オンラインによる通知の割合が70%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの内容を随時更新する。 ・中学3年生向けの学校説明会時やオープンスクール時に配布して広報する。 ・中学校訪問時に配布して広報する。 ・中学校への出前授業を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「前工通信」(学校新聞)や学校案内を作成し、学校説明会等で中学生に配付した。 ・Webページを小まめに更新し、学校の情報や生徒の活躍を分かりやすく広報している。 						
13 ICTを活用した業務改革を行っていますか。	(23) オンラインによる通知の割合が70%以上である。						<ul style="list-style-type: none"> ・授業におけるICTの活用をする。 ・学習支援ソフトウェアの活用を図る。 ・学習用端末の利用する機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各授業でICT機器を最大限活用している。 ・必要に応じてICT端末を用いてオンライン授業を行っている。 				
		<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した通知を活用する。 ・ICTを活用したアンケートを活用する。 ・オンラインによる通知を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のパortalサイトを構築し、連絡や情報をオンラインで共有している。 ・会議資料等を電子化し、オンラインで共有している。 ・各種アンケートをオンラインで行っている。 									